

青梅市の公の施設指定管理者評価シート

令和5 年度実施分

施設名	青梅市総合体育館および青梅市体育施設		
指定管理者名	青梅市スポーツ施設運営パートナーズ(代表企業:株式会社フクシ・エンタープライズ、構成企業:株式会社NTTファシリティーズ)		
指定管理期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日	担当課	スポーツ推進課
設置目的	市民の体育およびレクリエーションその他社会教育の振興を図り、心身の健全な発達に資するため。		

評価ランク	評価内容
S	協定等を遵守し、仕様よりも優れた管理であった。
A	協定等を遵守し、仕様に沿った管理であった。
B	協定等を遵守し、おおむね仕様に沿った管理であったが、一部に課題があった。
C	協定等を遵守できず、仕様に沿った管理ができなかった。

評価項目		評価内容	評価方法	指定管理者 評価	評価理由	市評価	評価理由
管理状況	適性な管理の履行	協定や事業計画に沿った管理が適切に履行されているか。 ・業務の履行（清掃・巡回の回数など）は適切か ・人員配置は適切か。 ・協定や事業計画どおりの管理となっているか など	月次報告書 年次報告書 年度協定書 現地確認	A	適正な人員配置をし、市の共同事業にも万全な体制で管理した。	A	市事業に対して常に協力的であり、市民からの要望事項などに対し、適切かつ柔軟に新規事業に協力体制をしいた。
	事業報告	定められた期間での報告および連絡が指定管理者からされているか。	月次報告書 年次報告書	S	定められた期間内での報告、連絡をおこなった。	S	市が依頼した数多くの調査等に対して迅速に対応し、期限内に回答している。
	安全性の確保	管理区域内の安全性については十分に確保されているか。 ・施設の安全性は確保されているか ・協定や事業計画どおりの管理となっているか など	月次報告書 現地確認	A	安全面の確認、状況確認を随時行い、簡易修繕、計画修繕の判断を行った。	A	施設の管理を十分に行っており、不具合に対する修繕を迅速に行っている。
	法令等の遵守	個人情報保護のための体制、書類および情報の整理および保管等は適正であるか。 ・市への報告は適時、適切にされているか など	月次報告書 現地確認	A	鍵付きキャビネットにて、管理している。	A	受付周辺は整理されており、事務所内への部外者の立ち入りも制限することで個人情報の管理が徹底されている。
	業務記録	業務等の記録は、適正に作成、整理および保管がされているか。	月次報告書 年次報告書	A	協定書を厳守して遂行した。月次報告書や修繕報告書等適正に作成している。	A	月次報告書等により、業務状況の適正な報告を受けている。
	緊急時対応	災害時等の緊急時の体制は整っているか。	月次報告書	A	協定書を厳守して遂行した。また緊急時対応マニュアルを作成し体制を整えている。	A	対応マニュアルを作成して非常時に備えている。
		災害時等の緊急時の対応研修、訓練等を行っているか。	月次報告書 年次協定書	A	定期的な訓練を実施している。	A	定期的な訓練の報告を受けている。
	適切な財務・財産管理	適切な財務運営・財産管理が行われているか ・建物や器具の破損、物品の紛失等はあるか など	月次報告書	A	建物や器具の適切な管理を行っている。	A	建物、器具の破損に対して適宜の報告を受けている。
事業効果等	事業の取組	事業計画どおりのサービスが提供されているか ・事業の計画、実施、成果は計画どおりか など	月次報告書 年次協定書	A	市の方針に沿った運営を行い、臨機応変な取り組みを行った。	A	市の判断により長期的に使用不可期間が生じたが、状況に応じた形態で取り組んだ。
	利用の状況	事業計画どおりの利用状況となっているか ・利用者は事業計画どおりか（環境の変化など外部要因を考慮）	月次報告書 年次協定書	A	利用増加につながる事業展開を行った。	A	利用者の前年度と比較し増加傾向にはある。自主事業の継続により、利用者がコロナ感染症による減少から利用状況は回復している。
	利用者意見の収集	利用者アンケート等を年1回以上実施し、利用者意見の収集をおこなっているか	月次報告書 年次協定書	A	通年でご意見箱の設置と年1回のアンケート調査により意見の収集をしている。	A	意見箱を通年設置し、要望・苦情があった際には早急に対応している。
		利用者の満足度を得られているか ・職員の接客対応、利用条件等は適切か	月次報告書 年次協定書	A	備品、施設の修繕行い、利用者満足度向上に取り組んでいる。	A	スタッフへの満足度、施設の設備への満足度ともに高い水準にある。
	利用者意見に対する対応	利用者アンケート等による意見に対し、適切に改善策が講じられているか	月次報告書 年次協定書	A	利用報告書や、窓口での声に適宜対応している。	A	施設、器具の老朽化に対する意見が多く、「現場ノート」により状況を共有して早期の修繕を行っている。
	行政目的の達成	行政と連携を図り施設の目的を達成しているか ・施設の設置目的を達成しているか ・市および関係機関との連携が適切に行われているか など	月次報告書 定例打合せ会	S	協定書を厳守し、定例会開催や意見交換を行っている。	S	定例の打合せのみならず、日常においてもこまめに協議を行っている。
	その他提案内容等	指定管理者選定時に提案のあった事項等について、提案とおりに実施できたか	月次報告書 定例打合せ会	S	選定時の提案の他、企業との連携事業、市、スポーツ協会を実施した。	S	提案にあった事項以外に、市等のニーズに応じた事業を実施した。
	会計	処理	管理業務の会計に関する帳簿、書類の整備および保存は適正にされているか。	月次報告書 現地確認	A	帳簿、書類は適切に処理、保存している。	A
管理		現金等の管理は適正であるか。また、金庫等の鍵の管理は適正であるか。	月次報告書 現地確認	A	現金や金庫管理については、厳重に管理している。	A	事務室内は金庫が厳重に管理されている。
収支状況	施設の収支決算状況	赤字決算に陥っていないか。 予算と決算に大きな相違があった場合はその相違の理由が的確である。	月次報告書 年次報告書 年度協定書	B	協定書を遵守して遂行したが、総合体育館のみ見ると、人件費は、要員人数が増えたことにより、支出が増えてしまった。	A	総合体育館の収支は赤字となっているが、体育施設および水泳場の収支を合わせると黒字となっている。
	指定管理者の収支決算状況	経常利益率（経常利益÷売上高×100（当期経常増益額÷経常利益×100））がプラスになっており、赤字決算に陥っていない。	月次報告書 年次報告書 年度協定書	A	代表企業6.3% 構成企業5.08%	A	代表企業6.3% 構成企業5.08%
		借入金に依存した資本構造ではなく、自己資本比率（自己資本（または正味財産）÷総資本×100）が30%以上となっている。	月次報告書 年次報告書 年度協定書	A	代表企業66% 構成企業24.9%	A	代表企業66% 構成企業24.9%
		流動比率（流動資産÷流動負債×100）が100%以上となっており、事業継続の安全性に不安がない。	月次報告書 年次報告書 年度協定書	A	代表企業280.1% 構成企業168.8%	A	代表企業280.1% 構成企業168.8%

1 指定管理者自己評価における評価理由、意見等

評点	数	記入欄
S	3	
A	17	
B	1	
C	0	

【管理状況】基本協定書を遵守し、管理運営基準に沿って業務を遂行しました。
【事業効果】コロナウイルスも第5類に移行し、コロナ前の運営状況までとはいかないが、利用者も増え計画通りに事業運営を行うことができました。
【会計】会計において、適正な処理、管理を行いました。
【収支状況】総合体育館においては、人件費の高騰により、適宜対応したが、支出が増えてしまった。来期は、要員人数見直しをして行きます。

2 市の評価、意見等

評点	数	記入欄
S	3	
A	18	
B	0	
C	0	

管理状況: 利用状況に応じた適正な人員配置を行い、適宜の報告・連絡・相談がなされている。
事業効果等: 新型コロナウイルス感染症により利用者減少があったが、ニーズにあった自主事業等を実施することにより利用者が徐々に増加傾向にある。
会計: 市の要請に応じて各種積算根拠の提示が迅速にされ、十分な説明と協議の機会があった。
収支状況: 総合体育館、体育施設および水泳場の収支状況は個々の施設は黒字ではないが、すべての施設を合わせると収支は黒字となっている。